

# 社会資本維持管理計画

平成29年3月

新潟県：粟島浦村

# 粟島浦村 社会資本維持管理計画（橋梁）

## 1. 背景・目的

粟島浦村は、平29年3月現在、4橋の道路橋を管理しています。1980年代に2橋、平成1990年代に1橋、2010年代1橋が建設され、現時点では、建設後50年経過する橋梁はありませんが、20年後の平成47年（西暦2035年）には2橋とも50年経過し、橋梁の高齢化が進行しています。（建設年が不明のため、1985年と仮定）

このような背景から、より計画的な橋梁の維持補修をしなければ、補修や架け替えの費用が増大し、今後の財政への大きな負担になることと懸念されます。

粟島浦村は、今後、管理する橋梁について定期的な点検を継続して行い、健全性を把握することに努めます。また、点検結果を踏まえて損傷が小さい時点から適切に補修を行うことにより維持管理コストの縮減を図り、安全な道路利用のサービスを提供することを目的に橋梁の維持管理計画を策定します。

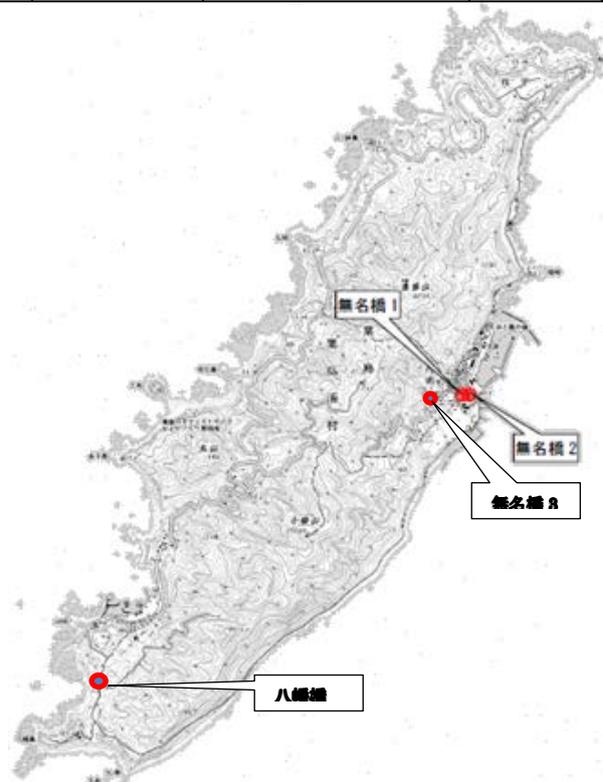
## 2. 対象橋梁

- ・ 橋梁維持管理計画は、粟島浦村が道路施設として管理する橋梁4橋を対象に行います。
- ・ 策定対象橋梁橋は、15.0m未満の橋梁が3橋です。15.0m以上の橋が1橋です。
- ・ 橋梁種別では、いずれもRC橋2橋、ボックスカルバート1橋、i桁橋1橋となります。

橋梁維持管理計画の対象橋梁

地区	番号	橋梁名	架設年次	橋長	総幅員	種別
内浦	1	無名橋1	不明（1980年代）	3.30m	4.60m	RC床版橋
内浦	2	無名橋2	不明（1980年代）	2.40m	2.78m	RC床版橋
内浦	3	無名橋2	2013年	6.30m	6.00m	ボックスカルバート
釜谷	4	八幡橋	1991年	25.6m	5.00m	i桁橋

位置図



### 3. 計画期間

橋梁の状態は、経年劣化や疲労等によって時々刻々と変化します。対象橋梁が、概ね建設後50年を迎える平成47年（西暦2035年）までを計画期間とします。

なお、点検結果等により変更の必要が生じた場合は、適宜、計画を更新します。

### 4. 状態把握及び日常の維持管理に関する基本的な方針

#### 1) 橋梁の状態の把握の基本的な方針

橋梁の状態の把握については、新潟県土木部道路管理課の新潟県橋梁定期点検要領〔小規模橋梁点検編〕に基づき、定期点検を行います。

#### 2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態を保つため、日常的に維持管理として、職員による不定期のパトロールのほか、近隣住民からの通報を参考に、清掃や土砂詰りの除去等、比較的に対応が容易なものについては、日常の維持作業により措置します。

### 5. 維持管理計画に関する基本的な方針

従来の致命的な損傷を受けてから補修する「事後保全」から、損傷が小さいうちに適切な補修をする「予防保全」に取り組みます。これにより、少ない費用で橋梁の長寿命化を図ることができます。

◎事後保全とは・・・

従来の方法で壊れてから大規模な補修や架け替えを実施する方法です。

◎予防保全とは・・・

定期的な点検を基に、損傷が小さいうちから計画的に補修を実施する方法です。

#### 【基本的な方針】

- 1 定期点検の結果を元に橋梁の状態を把握します。
- 2 点検結果（健全度）と環境条件、重要度等から、修繕計画を策定します。
- 3 策定した修繕計画に従い、対策（工事）を実施します。
- 4 上記のサイクルを繰り返し、効率のより維持管理を実施します。

#### 橋梁の状態の判定

小規模橋梁点検のチェックリストにより直接健全度を評価する。

健全度区分	
区分	健全度区分の定義
A	損傷がなく、建設当時の性能を保持している状態
B1	損傷があるが、性能の低下はほとんどない状態
B2	損傷があり、軽微な性能の低下がある状態
C1	損傷があり、性能の低下が懸念される状態
C2	損傷が著しく、性能の低下が顕著な状態
C3	性能の低下が著しく、早期の劣化進行が危惧される状態
E	落橋の危険が想定される状態。安全性の観点から緊急的に対策が必要な状態

- ・健全度評価による健全度区分は、標準点検、簡易点検に準じA、B 1、B 2、C 1、C 2、C 3、Eの7区分で表す。
- ・健全度評価を行う対象部材は、主構造、床版、下部工とする。

## 6. 対策の優先順位の考え方

計画対象の2橋について、位置はほぼ同じ(沿岸の環境)であり、建設からの経過年数も同じ、路線の重要度も同程度であるため、点検結果による健全度から対策の優先順位を決定する。

なお、同じ健全度の場合は、通学路であり村民の利用状況がより多い「無名橋1」を優先する。

## 7. 個別施設の状態等

### 1) 各施設の状態

番号	橋梁名	架設年次	橋長	総幅員	点検年度	健全度区分	部位・部材
1	無名橋1	不明(1980年代)	3.30m	4.60m	平成25年度	B 2	下部工 橋台
2	無名橋2	不明(1980年代)	2.40m	2.78m	平成25年度	B 2	下部工 橋台
3	無名橋3	2013年	6.30m	6.00m	平成30年度		
4	八幡橋	1991年	25.60m	5.00m	平成29年度		

### 2) 次回以降の点検時期

3橋は、橋長15.0m未満で沿岸部に位置することから、5年間隔により点検を実施する。

平成25年に点検を実施していることから、次回は平成30年(西暦2018年)に実施する。1橋は、橋長15.0m以上であり、平成29年3月に林道から村道へ移行したことから平成29年度(西暦2017年)に点検を実施する。それ以降は、平成35年(西暦2023年)、平成40年(西暦2028年)、平成45年(西暦2033年)とします。

## 8. 対策内容と実施時期

健全度C 1を下まわる部材について、橋の置かれている環境条件等を考慮したうえで「6. 優先順位の考え方」に基づき、計画的に修繕を実施します。

## 9. 対策費用

現在、健全度C 1以下の判定がないため、修繕費等の対策費用については算定しません。

なお、点検費用は、今年度(平成25年度)の実績から、5年に一度、787千円かかることを見込

んでいます。

## 10. 計画策定担当部署

計画策定担当部署

栗島浦村 産業振興課 0254-55-2111